

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン
連携事業進捗状況
(令和4年度中間報告)

令和4年11月

燕市・弥彦村

目 次

I	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
1	具体的取組	3
2	具体的取組の全体像	4
II	燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況	
1	進捗状況一覧	5
2	具体的な取り組み	
	・ 病児・病後児保育事業	6
	・ 新潟大学寄附講座事業	7
	・ 看護職員修学資金貸付事業	8
	・ 介護人材定着促進事業	9
	・ 観光エリア魅力アップ促進事業	
	【首都圏等観光PR事業】	10
	【産業観光ナビゲート事業】	11
	【観光協会運営支援事業】	12
	【2次交通整備事業】	13
	【観光複合施設運営管理事業】	14
	【情報発信ツール活用事業】	15
	・ コミュニティバス運行事業	17
	・ 予約制乗合ワゴン車運行事業	18
	・ 職員合同研修事業	19
	・ 外部人材活用事業	20
III	共生ビジョン取組事務事業一覧表	21

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

○生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備（4事業）

- ・ 病児・病後児保育事業
- ・ 新潟大学寄附講座事業
- ・ 看護職員修学資金貸付事業
- ・ 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進（1事業）

- ・ 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業6事業）

- 首都圏等観光PR事業
- 産業観光ナビゲート事業
- 観光協会運営支援事業
- 2次交通整備事業
- 観光複合施設運営管理事業
- 情報発信ツール活用事業

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築（2事業）

- ・ コミュニティバス運行事業
- ・ 予約制乗合ワゴン車運行事業

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

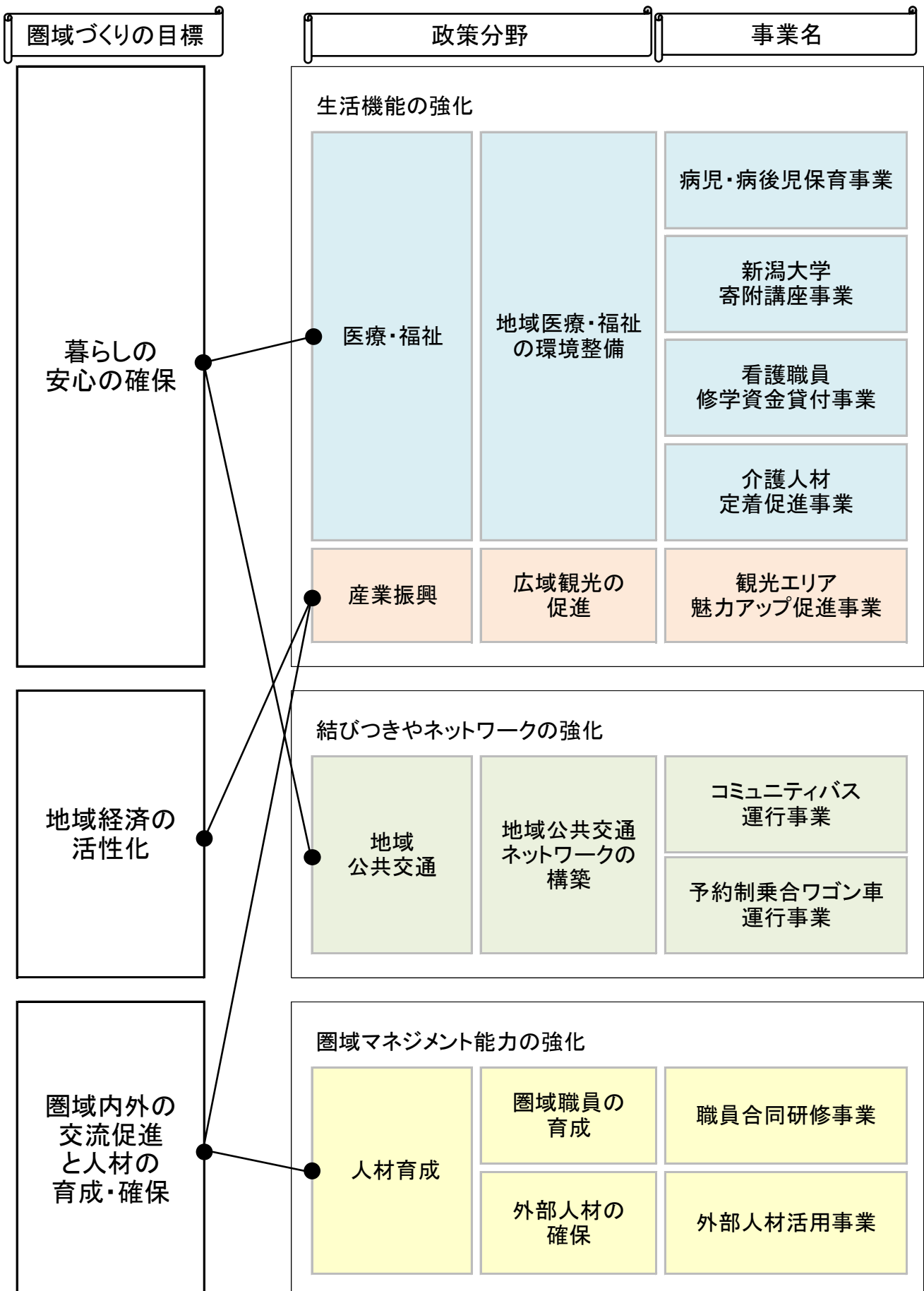
① 圏域職員の育成（1事業）

- ・ 職員合同研修事業

② 外部人材の確保（1事業）

- ・ 外部人材活用事業

2 具体的取組の全体像



II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧（全14事業）

各事業について、圏域の実情を踏まえながら実施した年度内の取り組みの進捗状況を4段階で評価しています。（4段階評価：順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）

■順調（3）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	病児・病後児保育事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	新潟大学寄附講座事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	看護職員修学資金貸付事業

■概ね順調（11）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	介護人材定着促進事業
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【首都圏等観光PR事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【産業観光ナビゲート事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光協会運営支援事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【2次交通整備事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光複合施設運営管理事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【情報発信ツール活用事業】
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス運行事業
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	予約制乗合ワゴン車運行事業
人材育成	圏域職員の育成	職員合同研修事業
人材育成	外部人材の確保	外部人材活用事業

■やや遅れている 遅れている（なし）

2 具体的な取り組み

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉

- 地域医療・福祉の環境整備

事業名	病児・病後児保育事業																																																																																					
事業内容	児童が病気の治療中又は回復期にあり、保育園等での集団保育が困難で、かつ、保護者のやむを得ない事情により家庭で保育が困難な場合に、その児童を専用施設（病児保育室「あおぞら」）で一時的に預かり、保育および看護ケアを行うことで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。				関係市村																																																																																	
					燕市 弥彦村																																																																																	
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。																																																																																					
実施状況 (R4.9末時点)	<p><事業概要></p> <table border="1"> <tr> <td>対象児童</td> <td colspan="5">燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td colspan="5">8人</td> </tr> <tr> <td>開設日</td> <td colspan="5">月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）</td> </tr> <tr> <td>開設時間</td> <td colspan="5">8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）</td> </tr> <tr> <td>職員配置</td> <td colspan="5">保育士5人</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td colspan="5">1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除</td> </tr> </table> <p><登録者数及び利用者数> (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">登録者数</td> <td>燕市</td> <td>1,379</td> <td>1,587</td> <td>1,733</td> <td>1,962</td> <td>2,151</td> </tr> <tr> <td>弥彦村</td> <td>206</td> <td>216</td> <td>219</td> <td>227</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,585</td> <td>1,803</td> <td>1,952</td> <td>2,189</td> <td>2,376</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">利用者数</td> <td>燕市</td> <td>663</td> <td>591</td> <td>82</td> <td>250</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>弥彦村</td> <td>113</td> <td>66</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>776</td> <td>657</td> <td>84</td> <td>263</td> <td>153</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度は9月末時点</p>					対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども					利用定員	8人					開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）					開設時間	8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）					職員配置	保育士5人					利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除							H30	R1	R2	R3	R4	登録者数	燕市	1,379	1,587	1,733	1,962	2,151	弥彦村	206	216	219	227	225	計	1,585	1,803	1,952	2,189	2,376	利用者数	燕市	663	591	82	250	140	弥彦村	113	66	2	13	13	計	776	657	84	263	153
	対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども																																																																																				
利用定員	8人																																																																																					
開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）																																																																																					
開設時間	8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）																																																																																					
職員配置	保育士5人																																																																																					
利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除																																																																																					
		H30	R1	R2	R3	R4																																																																																
登録者数	燕市	1,379	1,587	1,733	1,962	2,151																																																																																
	弥彦村	206	216	219	227	225																																																																																
	計	1,585	1,803	1,952	2,189	2,376																																																																																
利用者数	燕市	663	591	82	250	140																																																																																
	弥彦村	113	66	2	13	13																																																																																
	計	776	657	84	263	153																																																																																
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 登録者数については、チラシや登録票を入園式などで配布しており、継続的に増加している。一方、利用者数については、新型コロナウイルス感染症流行の影響により激減していることから、本事業の安定と継続的な運営が図れるよう支援に努める。																																																																																					
実施スケジュール	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																	
事業費見込 (単位：千円)	20,028	22,000	23,710	23,710	23,710																																																																																	
特定財源等	10,184	8,792	10,502	10,502	10,502																																																																																	
一般財源	9,844	13,208	13,208	13,208	13,208																																																																																	
特定財源等の名称	子ども・子育て支援交付金																																																																																					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。																																																																																					

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具 体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
病児・病後児保育事業の登録者数	1,585人	2,189人	2,376人	◎	1,750人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施し、吉田病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指す。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>1. 慢性疾患の早期発見、早期治療対策について 燕市の集団による特定健診等受診者のうち、同意が取れた人の血液検査データに現状では健診項目ではない肝線維化の程度を確認するFIB-4インデックスも加え、受診勧奨レベルの研究を継続実施する。</p> <p>2. 胃がん・大腸がんに関する啓蒙活動 燕市・弥彦村においてがんの死因の半分以上を占める胃がん・大腸がんの予防と生活習慣との関係や検診の大切さについての講演会を実施。 9月30日(金)燕市文化会館 174名参加。男性も多く、自身のピロリ菌除菌後の検診のあり方や気になる症状についてなど活発に質問が出るなど関心の高さが伺えた。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	令和元年度から令和3年度の協定を令和6年度までに更新。令和4年度以降3年間、引き続き寄附講座における研究について協力し、消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指し、継続して本講座を実施する予定である。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
	特定財源等	-	-	-	-
一般財源	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人	5人	5人	◎	4人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	看護職員修学資金貸付事業				
事業内容	看護師等を養成する学校又は養成所に在籍し、将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする者に対し、市村が指定する医療施設に継続勤務した場合に返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の看護師不足の解消と人材の地元定着を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域を含む県央医療圏における看護職員の確保及び人材の地元定着が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>【制度の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者：本人または保護者が燕市・弥彦村在住で、看護師等を養成する学校または養成所に在学する人 ◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択 ◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修業期間（最長5年間） ◆返還免除：以下の要件すべてに当てはまる場合は、返還を免除する <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校や養成所を卒業後、看護職の免許を取得すること (2) 資格取得後、直ちに指定する医療機関において、当該免許を活かした業務に5年間継続して従事すること ◆その他：新潟県が実施している「看護職員臨時修学資金制度」との併用が可能 <p>【実施状況】</p> <p>燕市 ・新規申請者…9名 ・貸与決定…9名 ・継続貸与者…11名 ※月50,000円を7月と10月に振込み ※次年度の申請を令和5年2月下旬頃から受付開始</p> <p>弥彦村 ・新規申請者…1名 ・貸与決定…1名 ・継続貸与者…1名 ※月50,000円（1名）、月30,000円（1名）を9月と3月に振込み</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 新潟県の修学資金貸付制度との併用者は、燕市9名・弥彦村0名であった。今後も県と協力し、互いに周知しあうことで、事業の利用者増加に努める。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)		7,500	13,569	20,100	26,700
特定財源等		-	-	-	-
一般財源		7,500	13,569	20,100	26,700
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (R2)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
看護職員修学資金貸付事業（延べ人数累	—	13人	23人	○	32人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成することで介護人材の確保に努めるとともに、介護業務に精励する職員の表彰を通して、介護職のやりがいと魅力を広く住民に発信し、職員が自信と意欲を持って働き続けられるよう介護人材の定着を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施状況 (R4.9末時点)	事業所宛に制度周知のメールを一斉送信し申請の勧奨を行った。9月末時点で、燕市では介護職員初任者研修受講費助成事業に1名、介護職員実務者研修受講費助成事業に11名、介護職員喀痰吸引等研修費助成事業に16名、介護福祉士資格取得費助成事業に5名分の申請があり、弥彦村では介護職員喀痰吸引等研修費助成事業に2名分の申請があった。 また、燕市において今年で5年目となる燕市・弥彦村圏域の介護施設等に10年以上勤務している介護職員等に、日ごろの感謝を込め表彰する「燕市次世代を担うキャリアテン 介護職員等表彰式」を11月に実施する予定で現在準備を進めている。				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 徐々に対象が新規採用者等限られ、申請件数が減少傾向となっている。研修の受講や資格取得につながるよう、引き続き制度周知を図っていきたい。				
	実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5
事業費見込 (単位：千円)	764	615	1,683	1,683	1,683
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	764	615	1,683	1,683	1,683
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
介護人材育成事業補助金 助成者数(延べ人数累計)	147人	256人	303人	◎	290人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 生活機能の強化に係る政策分野
 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	首都圏を中心にイベント出展、メディアのパブリシティ活動や交通媒体等に対する観光PR活動の強化を図る。また、マスコミや旅行会社、一般消費者によるモニターツアーを実施して圏域への誘客の増加を図る。				関係市村 燕市 弥彦村
期待される効果	マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接提供することで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>①首都圏等観光プロモーション事業 【実施状況】 ●令和4年に大河津分水が通水100周年を迎えることを記念し、大河津分水関係施設の他、燕市と弥彦村の観光施設などを各1か所以上利用するツアーに対し補助。※9月30日現在 申請件数8件（催行中止による申請取消4件） ●コロナ禍の中、近隣県を自動車で周遊する観光客にターゲットを絞り、高速道路関越自動車道「赤城高原SA下り」「上里SA下り」に燕・弥彦の観光パンフレットを設置。施設利用者に観光PRした。 ●福島県及び長野県、富山県、関西圏、浅草で実施された新潟県観光商談会に参加し、県外の旅行会社に燕・弥彦の観光プレゼンテーションを行った。大宮で実施された観光展では燕・弥彦の観光PRを行った。 ●メディアにおいて、燕と弥彦の魅力スポットを発信し、誘客 ・北信越福島5局共同制作番組「北信越福島行楽マップ2022」としてNSTおよび北信越福島の5局での行楽スポットの紹介、専用ページの各局のHPに掲載</p> <p>②インバウンド事業 【実施状況】 海外からの入国規制緩和措置やタイガー航空の新潟空港就航の検討など、インバウンド需要が動き出していることから、台湾からの誘客促進を図るため、3年ぶりに現地でのプロモーションを行う予定。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている ①首都圏等観光プロモーション事業 感染症収束後の誘客を見据え、概ね順調に進捗している。併せて、近隣県に加え、首都圏の観光向けのプロモーションも再開していく。 ②インバウンド事業 海外からの入国規制緩和など、インバウンド需要が動き出していることを踏まえ、台湾へのプロモーションを再開する。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	10,750	10,000	10,000	10,000	10,000
特定財源等	-	3,750	3,750	3,750	3,750
一般財源	10,750	6,250	6,250	6,250	6,250
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興

- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	各種観光イベントの企画運営の強化拡充と観光客や団体視察などの受入体制を充実させるため、観光ナビゲーターの確保育成を図る。				関係市村
					燕 市
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>①観光ナビゲーターの活用 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燕市観光協会で観光ナビゲーター3名を採用 ・観光案内業務 ・修学旅行や企業視察のコース提案及びオペレーションを実施 <p>*産業観光視察受入実施状況 R4.09.30現在 6,472人 (R03年度実績9,327人)</p> <p>②新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の企画開発 ・自然・産業観光が連携した新たな観光資源の発掘 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	<p>①観光ナビゲーターの活用 観光ナビゲーター3名で受入体制を整え、概ね順調に進捗している。</p> <p>②新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 概ね順調に進捗している。また、感染症対策を取りながら、事業を推進している。</p>				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	—————→				
事業費見込 (単位：千円)	9,601	9,601	9,914	9,914	9,914
特定財源等	4,800	4,800	4,957	4,957	4,957
一般財源	4,801	4,801	4,957	4,957	4,957
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	燕市と弥彦村の観光に係るイベント開催、観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援することにより、圏域の観光客誘致を効果的に実施する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の観光の魅力を安定的に情報発信させることで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図れるなど、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>●（一社）燕市観光協会</p> <p>【1. 観光イベント開催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばめ桜まつり 4月17日(日)分水総合体育館を会場に、来場者管理を行い「2022つばめ桜まつり分水おいらん道中―大河津分水通水100周年記念―」と題し特別開催した。室内でも大河津分水の桜並木をイメージできる特別な演出（映像を投影）の中、一太夫付き人17名のみの道中を3回開催。 観覧者・視聴者 約1,300人 ・越後くがみ山酒呑童子行列 9月の1カ月間「鬼月間」としてPRと各所で催しを開催 9月25日(日)「酒呑童子行列」を道の駅国上で実施 感染症対策のため、一般参加者の募集は控え、鬼役、鬼軍団で行列。 来場者に加え、鬼月間と連動することで、イベントPRに努めた。 延べ来場者数 約4,000人 <p>【2. 観光プロモーション事業】</p> <p>燕市の魅力を発信していくため、ツール媒体、既存媒体等への広告掲載など、PR活動により、燕市の知名度向上、誘客促進を図る。</p> <p>●（一社）弥彦観光協会</p> <p>感染症による影響が落ち着いてきて、感染症拡大防止に取り組みながらイベントを開催することが可能な状況になってきている。 県の「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業補助金を活用した「謎解きアドベンチャー」や弥彦村地域振興事業補助金を活用した「やひこ浴衣でまちあるき」「山の日フェスタ」などの屋外周遊を促す事業を実施し、感染症の拡大防止とイベントの両立を図っている。3年目となる「やひこ浴衣でまちあるき」については224人の利用者、前年比112.5%と好評。「謎解きアドベンチャー」は弥彦のまち歩きの特徴を活かした創意工夫のある事業。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 感染対策をとりながらイベント開催の両立をはかり、交流人口の増加に努めた。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	47,848	41,230	51,372	43,605	43,605
特定財源等	3,641	3,500	-	-	-
一般財源	44,207	37,730	51,372	43,605	43,605
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

○生活機能の強化に係る政策分野
 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（2次交通整備事業）																									
事業内容	J R 燕三条駅や弥彦温泉から出発する2次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。				関係市村																					
					燕 市 弥彦村																					
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。																									
実施状況 (R4.9末時点)	燕市や弥彦村を中心とした観光地を巡る日帰りタクシープラン 「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の運行 【事業内容】 運行日：令和4年4月上旬～令和5年2月下旬 ※コースによって運行日が異なります。 料 金：大人、子供4,000円(新潟ワインコースト4,500円) 【実施状況】 (9月30日現在) 運行本数16本 利用人数50人 東京31人・神奈川7人・千葉5人・栃木3人・新潟4人 [各コース内訳] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>・いいとこ巡りコース</td> <td>運行本数：10本</td> <td>利用人数：32人</td> </tr> <tr> <td>・越後平野のルーツに触れるコース</td> <td>運行本数：1本</td> <td>利用人数：3人</td> </tr> <tr> <td>・燕の工場巡りコース</td> <td>運行本数：0本</td> <td>利用人数：0人</td> </tr> <tr> <td>・良寛巡りコース</td> <td>運行本数：1本</td> <td>利用人数：3人</td> </tr> <tr> <td>・弥彦満喫コース</td> <td>運行本数：1本</td> <td>利用人数：6人</td> </tr> <tr> <td>・新潟ワインコーストコース</td> <td>運行本数：3本</td> <td>利用人数：6人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:right">計 16本</td> <td style="text-align:right">50人</td> </tr> </table>					・いいとこ巡りコース	運行本数：10本	利用人数：32人	・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：1本	利用人数：3人	・燕の工場巡りコース	運行本数：0本	利用人数：0人	・良寛巡りコース	運行本数：1本	利用人数：3人	・弥彦満喫コース	運行本数：1本	利用人数：6人	・新潟ワインコーストコース	運行本数：3本	利用人数：6人		計 16本	50人
・いいとこ巡りコース	運行本数：10本	利用人数：32人																								
・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：1本	利用人数：3人																								
・燕の工場巡りコース	運行本数：0本	利用人数：0人																								
・良寛巡りコース	運行本数：1本	利用人数：3人																								
・弥彦満喫コース	運行本数：1本	利用人数：6人																								
・新潟ワインコーストコース	運行本数：3本	利用人数：6人																								
	計 16本	50人																								
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 令和4年度の利用者実績は、令和3年度同時点の実績を大きく上回り、35人増の50人となった。 感染症の規制緩和や数年ぶりのイベントの開催に伴い、首都圏からの観光人流が増加している。例年、冬季間の利用が落ち込む傾向にあるため、二次交通の利便性向上および燕・弥彦の魅力発信を図りつつ、引き続きPRしていきたい。																									
	実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6																				
事業費見込 (単位：千円)	4,500	2,000	2,000	2,000	2,000																					
特定財源等	-	750	750	750	750																					
一般財源	4,500	1,250	1,250	1,250	1,250																					
特定財源等の名称	地方創生推進交付金																									
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。																									

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に 行う。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>●道の駅国上 令和4年度より新たな指定管理者のもと、【自然と遊ぶ道の駅】をコンセプトとした自然観光の交流拠点として、7月1日リニューアルオープン。オープニングイベントをはじめ、週末には集客イベントを実施。9月末、愛称「SORAIRO国上」に決定。 【売店・食堂】これまでの売場スペースを2倍以上に拡大。「ファーマーズマーケット&アウトドア」をテーマに、農産物中心のアイテムと金属製品はキャンプエリアとの親和性を考慮し、アウトドア用品を中心に販売。食堂は指定管理者のもと、メニューを刷新。燕背脂ラーメンの地元人気店も加わった。 【公園】デイキャンプエリア・バーベキュー広場を新設。コンテナハウス3棟を設置し、ピザ・カフェ等飲食を販売。足湯スペースも内装を一新し「足湯テラス」に生まれ変わった。 R4年4月～9月末 来館者数 208,335人 前年度 78,139人 前年比266.6% 売店・食堂売上 105,710,595円 前年度26,980,349円 前年比391.8%</p> <p>●おもてなし広場 昨年新たに2店舗がオープンし、売上は好調。来場者数も増加傾向にあり、既存店舗も順調に売上を伸ばしている。3年ぶりの開催となった「弥彦灯籠まつり」や「水曜どうでしょうキャラバン2022」等のイベント開催による観光客数の増加が売上の増加に寄与したものとみられる。 R4.4月～9月末 来館者数 64,060人 前年度63,130人前年度比101% 売上額 88,728,584円 前年度84,906,126円 前年度比104.5%</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 環境整備を行いながら、イベント等の誘客事業実施により、更なる交流人口増加に努めている。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	30,509	34,169	29,387	29,387	29,387
特定財源等	-		13,929	10,000	10,000
一般財源	30,509	34,169	15,458	19,387	19,387
特定財源等の名称	地方創生推進交付金				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興

- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信ツール活用事業）				
事業内容	圏域の魅力を効果的に伝えることができる観光PR用ポスター、DVDを作成し、情報発信ツールとして活用を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	①燕市・弥彦村観光PRマップの活用 【実施状況】 令和2年度に作成した「燕と弥彦ぐるぐるMAP」を今年度15,000部増刷。今年度前半は主に高速道路サービスエリア2か所に設置。出向いてPRが行えない状況の中、3か月に300部ずつ発送。近隣の道の駅にも設置している。 国内観光需要が動き出したことや海外からの入国規制緩和に伴い、これまで停止していた、東京駅の観光施設2か所にパンフレット設置を再開。さらに15,000部増刷予定。 加えて、誘客促進のためのPRノベルティの作成を計画している。				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	動き出した観光需要に対応し、誘客促進の情報を提供していく。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込 (単位：千円)	750	3,000	3,000	3,000	3,000
	特定財源等	-	-	-	-
一般財源	750	3,000	3,000	3,000	3,000
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
燕市及び弥彦村の 観光入込客数(暦年)	3,332,034人	891,294人	1,583,030人	△	3,752,000人
2次交通整備事業の 利用人数	305人	15人	50人	△	400人
道の駅国上・おもてな し広場来館者数	367,929人	141,269人	272,395人	○	404,000人
弥彦温泉宿泊数 (暦年)	88,193泊	18,677泊	36,882人	△	91,000泊
産業観光視察受入人数 (燕市観光協会経由分)	2,102人	4,653人	6,372人	◎	3,500人

※達成状況は3段階で評価(◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	コミュニティバス運行事業				
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持拡充するため、圏域の主要駅や病院等を経由するバス路線の整備を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>【実証運行区間見直し】 令和2年10月より運行している燕市コミュニティバス実証運行（燕駅～大曲～燕三条駅～燕労災病院～新生町）において、令和4年10月より路線や時刻表などを見直し、実証運行を令和5年3月31日まで継続する。</p> <p>【利用料金】 1回 100円（小学生以下無料）</p> <p>【利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スワロー号」乗車人数 12,268人（99.7人/日） （去年同期比 +955人（+7.0人/日）） ・「やひこ号」乗車人数 6,629人（64.3人/日） （去年同期比 +950人（+7.2人/日）） ・燕市コミュニティバス実証運行乗車人数 2,194人（17.8人/日） （去年同期比 +565人（+4.4人/日）） <p>※詳細については別添資料を参照</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている バス利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。 引き続きコロナウイルスの対策等を講じながら、利便性の向上に向けて、事業者と協議検討していく。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	36,645	41,063	43,957	43,957	43,957
特定財源等	33,056	36,536	37,909	37,770	37,770
一般財源	3,589	4,527	6,048	6,187	6,187
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
コミュニティバスの年間利用者数	53,404人	19,958人	22,428人	△	59,200人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、運行エリアを燕市・弥彦村全域（H27.7.1～）とし、安全を第一に考えて運行している。 広報紙での記事掲載などで利用促進に努めており、車両の消毒や換気などといった感染防止策についても日々実施している。</p> <p>【利用料金（1回）】 大人（中学生以上） 300円 小学生 100円 未就学児 無料</p> <p>【利用状況】 エリア全体 17,628人（143.3人/日） （去年同期比 +873人（+8.0人/日）） ・東エリア＝燕地区、横田地区 ・西エリア＝吉田地区、分水地区、弥彦村（※横田を除く） ※詳細については別添資料を参照</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	<p>デマンド交通の利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。 引き続きコロナウイルスの対策等を講じながら、利便性の向上に向けて、事業者と協議検討していく。</p>				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	44,684	46,595	52,173	51,007	51,007
特定財源等	36,947	38,476	42,938	42,005	42,005
一般財源	7,737	8,119	9,235	9,002	9,002
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
予約制乗合ワゴン車の年間利用者数	38,652人	16,500人	17,628人	△	38,800人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 圏域職員の育成

事業名	職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	【実施状況】 ①接遇力向上・電話対応研修 [R4.4.19実施] ・対象：新採用職員、希望者(34名：燕市30名、弥彦村4名) ・講師：N T Tネクシア 田辺紀子氏 ②行政実務のためのデータ分析研修 [R4.6.24実施] ・対象：主事～係長級職員(19名：燕市16名、弥彦村3名) ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基氏 ③実務データ分析研修(フォローアップ編) [7月～10月 R4.11.17成果発表会予定] ・対象：主事～係長級職員(8名：燕市5名、弥彦村3名) ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基氏 ④メンタルヘルス研修 [R4.9.29実施] ・対象：新採用職員、希望者 (38名：燕市27名、燕・弥彦総合事務組合9名) ・講師：石橋クリニック 石橋幸滋氏 ⑤クレーム対応研修 [R4.11.11実施予定] ・対象：採用3年目職員、希望者(燕市19名、弥彦村3名) ・講師：N T Tネクシア 田辺紀子氏 ⑥公文書作成研修 [R4.11.22実施予定] ・対象：採用2年目職員、希望者(燕市21名、弥彦村3名) ・講師：株式会社ぎょうせい 上原等氏				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 当初の予定どおり各種研修を合同で開催し、職員の資質向上を図っている。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
来庁者満足度	83.5%	84.5%	89.90%	◎	85.0%
合同研修メニュー数	4メニュー	6メニュー	6メニュー	○	6メニュー

※達成状況は3段階で評価(◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 外部人材の確保

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施状況 (R4.9末時点)	<p>【燕市】 平成23年度から専門的な経験や実践経験を有する外部人材を任期を定めて活用しながら、高度かつ専門化する行政課題に対応している。 令和4年度は、危機管理、広報企画、情報発信の分野に加え、新たに行政のデジタル化を推進するために情報政策分野で外部人材を活用している。それぞれ民間企業で長年培った知識や経験を活かし、専門的業務に従事するとともに、市民向けの出前講座や職員研修において講師を務めるなど人材の育成にあたっている。</p> <p>【弥彦村】 令和元年度から防災分野、令和3年度からは農業分野、図書館業務において、専門的な経験を有する人材を任期を定めて採用している。長年の知識や経験を活かし、専門的業務に従事している。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	今後引き続き民間企業や公的機関等からの人材の受入れについて検討する。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込※ 1	(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)	(48,000)
	特定財源等	(0)	(0)	(0)	(0)
	一般財源	(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)
特定財源等の名称	※1「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R3.9末)	最新値 (R4.9末)	評価	目標値 (R6)
外部人材職員の招へい数(期間中の累計)	5人	6人	9人	◎	6人

※達成状況は3段階で評価(◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

Ⅲ 共生ビジョン取組事務事業一覧表

(※事業費は、現時点での一般財源の合計見込額を記載しています)

項目	事業名	連携市村	事業費 (単位: 千円)						特定財源等	
			R2	R3	R4	R5	R6	計		
1 生活機能の強化										
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備									
	病児・病後児保育事業	燕市	8,534	11,498	11,498	11,498	11,498	54,526	子ども・子育て支援交付金	
		弥彦村	1,310	1,710	1,710	1,710	1,710	8,150		
		計	9,844	13,208	13,208	13,208	13,208	62,676		
	新潟大学寄附講座事業	燕市	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000		
		弥彦村	680	680	680	680	680	3,400		
		計	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480	37,400		
	看護職員修学資金貸付事業	燕市	-	7,200	12,609	18,600	24,600	63,009		
		弥彦村	-	300	960	1,500	2,100	4,860		
		計	-	7,500	13,569	20,100	26,700	67,869		
	介護人材育成促進事業	燕市	679	590	1,203	1,203	1,203	4,878		
		弥彦村	85	25	480	480	480	1,550		
		計	764	615	1,683	1,683	1,683	6,428		
	産業振興	広域観光の促進								
		観光エリア魅力アップ促進事業								
首都圏等観光PR事業		燕市	8,150	3,750	3,750	3,750	3,750	23,150	地方創生推進交付金	
		弥彦村	2,600	2,500	2,500	2,500	2,500	12,600		
		計	10,750	6,250	6,250	6,250	6,250	35,750		
産業観光ナビゲート事業		燕市	4,801	4,801	4,957	4,957	4,957	24,473	地方創生推進交付金	
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
		計	4,801	4,801	4,957	4,957	4,957	24,473		
観光協会運営支援事業		燕市	40,907	36,430	50,072	42,305	42,305	212,019	地方創生推進交付金	
		弥彦村	3,300	1,300	1,300	1,300	1,300	8,500		
		計	44,207	37,730	51,372	43,605	43,605	220,519		
2次交通整備事業		燕市	3,000	750	750	750	750	6,000		
		弥彦村	1,500	500	500	500	500	3,500		
		計	4,500	1,250	1,250	1,250	1,250	9,500		
観光複合施設管理運営事業		燕市	26,464	30,795	12,071	16,000	16,000	101,330	地方創生推進交付金	
	弥彦村	4,045	3,374	3,387	3,387	3,387	17,580			
	計	30,509	34,169	15,458	19,387	19,387	118,910			
情報発信ツール活用事業	燕市	500	2,650	2,650	2,650	2,650	11,100			
	弥彦村	250	350	350	350	350	1,650			
	計	750	3,000	3,000	3,000	3,000	12,750			
①小計		燕市	99,835	105,264	106,360	108,513	114,513	534,485		
		弥彦村	13,770	10,739	11,867	12,407	13,007	61,790		
		計	113,605	116,003	118,227	120,920	127,520	596,275		
2 結びつきやネットワークの強化										
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築									
	コミュニティバス運行事業	燕市	2,621	3,544	4,602	4,741	4,741	20,249	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	968	983	1,446	1,446	1,446	6,289		
		計	3,589	4,527	6,048	6,187	6,187	26,538		
	予約制乗合ワゴン車運行事業	燕市	6,455	6,771	7,706	7,511	7,511	35,954	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	1,282	1,348	1,529	1,491	1,491	7,141		
		計	7,737	8,119	9,235	9,002	9,002	43,095		
	②小計		燕市	9,076	10,315	12,308	12,252	12,252	56,203	
			弥彦村	2,250	2,331	2,975	2,937	2,937	13,430	
			計	11,326	12,646	15,283	15,189	15,189	69,633	
3 圏域マネジメント能力の強化										
人材育成	圏域職員の育成									
	職員合同研修事業	燕市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280		
		弥彦村	120	200	200	200	200	920		
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
	外部人材の確保									
	外部人材活用事業 ※1	燕市	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(160,000)		
		弥彦村	(8,000)	(8,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(64,000)		
計		(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)	(48,000)	(224,000)			
③小計		燕市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280		
		弥彦村	120	200	200	200	200	920		
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
①+②+③ 合計		燕市	109,991	116,879	119,968	122,065	128,065	596,968		
		弥彦村	16,140	13,270	15,042	15,544	16,144	76,140		
		計	126,131	130,149	135,010	137,609	144,209	673,108		

※1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きし、集計には含めていません。